



まちゼミ 久が原

鍋谷 香

二〇一七年二月の蒲田モダン研究会で、まちゼミについて、その概要、仕組み、効果などを説明した後、手仕事シヨップ・フォレストで行った手ぬぐいについてお話しをしました。

まちゼミとは、愛知県・岡崎市で始まった商店街の取り組みで、お店の人が講師となつてプロならではの専門知識やコツを無料で学べる少人数制のミニ講座です。得する街のゼミナールを略してまちゼミと呼んでいます。

大田区では、二〇一七年一〇月に久が原銀座商店街で参加店一五店、二〇講座でスタートしました。事前の研修で、全体の仕組み、講座の作り方や本番までの準備を学び、まちゼミ開催後には結果報告会でアンケートの集計結果などのミーティングが開かれます。

フォレストでは、蒲田切子に関する講座と手ぬぐいの講座を用意しました。まちゼミでは、何をやるかよりも、誰に来てもらいたいか、いつ（日時）やるかを先に決めて、お店でよく質問されることを講座にするとよいと言われました。蒲田切子の次によく聞かれるのが、手ぬぐいって何に使えばいいの？というものでしたので、手ぬぐいに関

する講座を考えました。

手ぬぐいの講座のタイトルは、「簡単！すぐに使える手ぬぐいの活用術」。手ぬぐいの歴史、使い方、染め方の種類、お手入れ方法などをスケッチブックを使い、紙芝居のように見える形で説明をするようにしました。そうすることで時間の配分や話し忘れることがなく、毎回同じように講座を進めることができました。使い方については、江戸時代の人々がどのように使っていたかを想像してもらい、参加者みんなで思いつく使い方を話してもらったり、現代においてはどんな風に使っているかを教えあつたりして会話が弾みました。また、一緒に手ぬぐいでラッピングする時間をつくり、簡単に家に帰ってから覚えていてすぐに使ってみてもらえるワークショップをしたのも好評でした。

まちゼミの良いところは、①お客様にとっては無料で新しい知識を得たり、新しいお店を開拓でき知り合いができる。②お店にとっては店を知ってもらえるチャンス、お客様の声を直接聞ける、新規売り上げにつながる。③商店街にとつてはエリアのお店を紹介でき、街がにぎわい、地域全体のイメージアップに繋がり、魅力ある商店が増え行きたくなる街に繋がることです。

最初のまちゼミの時、フォレストも商店街でお店を始め二二年目でまだまだ知られていなかったり、気にはなっていたけど入ったことがなかったという参加者の方がいま

した。まちゼミをきっかけに時々プレゼントなどを買いに来てくださるようになりました。

二回目のまちゼミでは、参加店舗を近隣の商店街にも広げ、三四店四三講座に増えました。フォレストでも新しい講座にもチャレンジしました。まちゼミに参加してよかったことは、新しいお客様との出会いはもちろんですが、他の商店の人たちと知り合いになったことです。横の繋がりが出来たことで、お店のチラシを置いてもらったり、互いのお客様を紹介したりというコミュニケーションが生まれました。回数を重ねることで、参加店もお客さんも増えて、商店街の活性化に繋がることを期待します。

